

日刊 印刷所 常盤毎日印刷所



定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元

刊夕日十二月十

人を愛する政治 (終) 司法大臣 原 嘉道

められんことを希望して止まない次第である。

ともある。勿體なくも國民の罪を御身に負荷あそばす

看護婦派の求めに應ず 平看護婦會

特急列車 大東キネ超特作連続本年

旗本五男前 明和旗本五男前

結婚難 正喜 映畫 結難 全七

大改新陣容完成大興行

辯護士大嶺庫 十月二十日

大學選手 今正にスポーツの絶妙のシ

高杉晋作 原作 田村虚舟氏

リ替りプログラム N.K.大傑作雄篇

合着シャツとして 確かに皆様より歓迎

高級醬油 九升樽 五圓五十錢

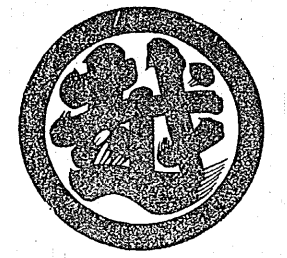
御大典紀念品 抽籤券

御大典紀念品 抽籤券

高級醬油 九升樽 五圓五十錢

御大典紀念品 抽籤券

御大典紀念品 抽籤券



十月廿八、廿九日の二日間 (午前八時半より)

平町、住吉屋本店にて出張販賣

御召、小紋、大島、銘

三越 東京市

本縣では庶民金融機關として産業組合の普及發達並に活動奨励に大奮になつてゐるが中には有名無實のものもあるので七十餘組合に對してこれが振興刷新は縣下金融界の勢より鑑がみ焦眉の急になつてゐるので來る廿五日から縣下八ヶ所三百廿四組合長を召集し産業奨励協議會を開催する等であるが石城双葉は三十日平町元會議室に於て開催する

平町外七個所に於て 縣下産業組合長會議

庶民金融機關として 普及發達を圖る爲に

米價追日下落 縣下各地の米價市場は益々下落の調を辿り本月十五日現在産米二十七圓で前月より六錢安移出米二十九圓七十七錢で十四錢安同白米卅三圓廿二錢で十八錢の安値を示した

堀部留藏氏 第二回公判

銀行久之濱支店長堀部留藏氏の背任横領詐欺罪の第二回公判は來る廿二日午前十時より福島地方裁判所平支部に於て千葉裁判長係横木門傳、北川の三辯護士列席

御大禮參列を許される

光榮の 郡下消防組頭 本縣下十六名中四名決定

國民擧げて壽ぎ奉る御大典に際し聖上陛下の奉送迎に全國各縣の選抜消防組頭の參列を許される事となり大日本消防協會から奉送奉迎各十名以内のこれが參列者選抜方を本縣宛に依頼して

活氣出でん

石炭商滞在中

既報の如き極めて徹底した送炭制限の結果は必ずや各石炭の請買業者に對する供給が手薄となるので各當業者は常に山元に張り込みより多くの送炭を受くべく畫策する必要が生じ湯本、平等炭礦關係の地方ではこれ等石炭屋の滞在中で一日景氣が出るものと觀られる

十九日江名漁業組合から左の如く報告があつた 石城各濱は秋刀魚漁期に入り非常な活況を呈して來た。目下の處漁場は岩手縣並に宮城縣沖合にある

各濱にも近年にない豊漁 書入りの秋刀魚漁期に入り

各漁港俄かに活氣づく

漸次本縣沖合に向け進行しつつあり本年は近年にない豊漁で各漁船共に二十萬乃至五十萬の大漁であるが、相場の法外な安値にて同業者は儲けはない秋刀魚群の本野沖合



關庭家

いも料理色々

かまぼこいも 生のまゝ、おろし、汁をこぼつてうごん粉を少しまぜ、これを板

本邦ラヂオの初試み 札幌の童話中繼放送

川崎本社長により行はる

仙台放送局からの切なる求めにより三たび出陣した川崎本社長は十九日午前午後二回に亘る放送をなし更に今二十日は午後三時から童話「大きな勳章」を放送したが札幌放送局では右童話の

磐炭本社を再び 以前通り湯本に引張る

町役場を移轉して之れに充當

淺野翁大體に於てこれを承諾

磐城炭礦會社が炭界不況で經營困難に陥りこの窮況を切抜ける最善の方法として東京の本社を内郷村大字宮に移轉し同礦業所に併合することになつたのを知つた湯本町では十六日午後一時から急施町會を開き同本社並に礦業所を湯本町に移轉させんがため運動方法につき協議した結果上京陳情委員を選定同夜上京社長淺野總一郎氏に面會し會社が本社並に礦業所を湯本町に移轉する際は現在會社から借

に現れるのは今月下旬頃と見られ安値とは言ひ不漁續きの折柄として各濱共に非常な意氣込みである

小冊子贈呈 縣立農事試験場石城分場では來月

官行製炭の廢運動に 濱三郡木炭業者結束

目的貫徹の曙光見ゆるも 更よ第二次運動開始準備

濱三郡木炭同業組合代表委員は官行製炭事業撤廢陳情のため四五兩日關係縣會議員及代議士同伴農林省及東京營林局にそれ〴〵各課各掛かりを歴訪して歸郷引續き運動してゐるが十五日は

官行製炭 により直

に職を失はねばならぬ破目となる地元貝泊、石住兩村の反對者百九名の陳情書に調印を取纏り再度上京前同業農林省營林局に陳情し十八日夕刻歸郷したが結果は相當有利に展開せる模様であると尙更に對策を續けてゐる貝泊石住兩村に最も接近せる 植田町では關係最も深きを以て香取

住吉坑開鑿 磐炭將來の擴張

磐城炭礦では現行の送炭制限が近づき將來において各社の貯炭を一掃し漸次好況を再現すべきを豫想しききに水没のため絶望視された綴坑を復活せしむべく過般來鋭意排水に努めつつある傍ら新坑住吉坑の開鑿を急ぎ來春までは着炭の豫定であるといふから入山の第六

鯛の豊漁

小名濱地方一帯 大敷に人氣湧く

小名濱の大敷網ではさきに夏網を終了し更に諸般の準備を整へるる十六日秋網を投じたる處十八日鯛一千貫の初漁あり取引相場三十五割にて一齊三千五百圓の水上げを見たので秋あみの前途は頗る樂觀されて投げ網早々人氣が湧き立つてゐる

平第二運動會

二小學校に於ける秋季運動會は明二十一日午前八時から平第一小學校庭に於て開催する

磐中辯論大會

縣立磐城中學校辯論部主催縣下中學校辯論大會は來月四日午前十時より磐中學校講堂に於て開會するが當日は田村安積双葉相馬磐中の五校が参加する

投網早々

上へむらのない様に一寸位延ばし小口から巻いて適當に切つて食べます。

昆布巻いも 生でおろし

うどん粉を少しばかり交ぜ棒のやうにしておいて其上を極く上等の青昆布で巻いて更に竹の皮で包み要所を糸でくくつて蒸すのです